

「多摩平の森 団地内緑地」環境省の「自然共生サイト」への認定が内定 ～地域特性を活かした都市の環境保全に貢献～

UR都市機構(以下、UR)の「多摩平の森 団地内緑地」が、環境省が実施する「自然共生サイト」※¹認定事業において、UR賃貸住宅として初めて認定されることが内定しました。

多摩平の森では、1997年から始まる団地建替事業にあたり、近接緑地と団地内の緑をネットワークする緑の回廊づくり、宮内省御料林の頃からの樹木が残る林地の保全と活用を基本方針として環境整備を行い、管理開始後は周辺地域の特性を活かし、身近な生物も生き続けることができる環境保全と適切な維持管理に取り組んできました。

今回の認定においては、建替えを契機とした地域コミュニティ再生の事例であり、地道なモニタリングや維持管理により、生物の生息・生育の場となっている優れた生物多様性を有する緑地であることが評価されています。

URは、今後も地域の自然、生活、歴史、文化などの特性や環境資源を積極的に利活用し、都市の自然環境の保全・創出および質の高い都市景観の形成に努めてまいります。



※¹「民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域」を国が認定する区域。CBD-COP15(生物多様性条約第15回締約国会議)で採択された新たな世界目標である「30by30」の達成に向け、国際データベースに登録してその保全活動を促進する。

お問い合わせは下記へお願いします。

本社 技術・コスト管理部 環境技術課
(電話)045-650-0672

本社 広報室 報道担当
(電話)045-650-0887

【参考】

■多摩平の森 概要

所在地:東京都日野市多摩平

管理開始:平成 13 年度

管理戸数:1,528 戸

敷地面積:約 10.7ha

緑地面積:約 4.5ha

■UR の生物多様性に関する取組みはこちら

<https://www.ur-net.go.jp/aboutus/action/kankyo/shoukai/seibutsu.html>

https://www.ur-net.go.jp/rd_portal/archive/environment_a01.html

■環境配慮方針

<https://www.ur-net.go.jp/aboutus/action/kankyo/kankyo.html>

■環境省・自然共生サイト

<https://policies.env.go.jp/nature/biodiversity/30by30alliance/kyousei/>

UR都市機構の歩みは戦後の住宅不足解消に端を発しています。1955年から様々なステークホルダーとともに、時代時代の多様性に即し、安全・安心・快適なまちづくり・くらしづくりを通して、「人が輝く“まち”」の実現に貢献してまいりました。そしてこれからも、変化する社会課題に挑戦し続けることで皆さまにお応えし、「人が輝く“まち”」づくりに不可欠な存在でありたいと考えております。これまで培ってきた持続可能なまちづくりのノウハウをいかし、都市再生事業・賃貸住宅事業・災害復興支援・海外展開支援に全力で取り組んでまいります。

<https://www.ur-net.go.jp/>

